

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	諸塚村			代表者名	藤崎 猪一郎
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務政策課	連絡先電話番号	0982651112
担当者役職	主任主事	担当者氏名	松木良晃	連絡先E-mail	
住所	8831301 宮崎県諸塚村大字家代2683番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	「つながる公民館プロジェクト×シェアリングシティ構想」
概要	諸塚村では、公民館を地域資源共有の拠点とし、地域の人・モノ・場所・スキルなどを見える化・共有するシェアリングシティ構想を推進している。庁内DXとも連携し、住民参加型の仕組みづくりや情報発信体制の整備を進めている。我々は地域資源の整理・デジタル化・運用実証を行い、講師には、ICT導入に関する技術的助言や他地域事例の紹介、住民理解を得るための説明・対話支援、行政内の連携強化に向けたアドバイスなど、構想の実現に向けた伴走的支援をお願いしたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） AI活用 生成AI活用 シェアリングエコノミー		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	684	令和7年11月7日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月17日	支援・助言&フォローアップ(実地)	18時00分	20時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	諸塚村役場		最寄駅	日向駅
	所在地	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683番地		最寄駅からの交通手段	バス、タクシー又はレンタカー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。




アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	前回に引き続き今回は自治体職員と住民を対象としたワークショップを行った。グループを農林業分野、高齢者分野、関係人口分野の3つに分け、それぞれの現在の姿、ありたい姿、そのギャップをどう埋めていくかを建設的な議論で話し合うことができた。少しずつではあるが、村民にもDXの意識が芽生えてきていることを実感できる結果となった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	18人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	11	7	0
				その他(学生など)
				0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	実際に諸塚村がどのような課題を抱えているのか、村民が考えていることをヒアリングし、それをどう解決していくかを村民に伝えることが難しい。また、今回参加された住民もわずかであり、高齢者やデジタル部門に関心のない住民をどのように巻き込んでいくかを検討する必要がある。
----------------------	--

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)		現在の自助・公助の仕組みを共助化し、地域に眠っている人・モノ・スキル・時間等のシェアを行うことによって、過疎化や人口減少が進んでいる小規模自治体を持続可能なものとし、地域の発展を図る。また、村政や公民館制度のデジタル化を図り、事務負担の軽減や地域の魅力づくりに貢献する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)		実際に自治体職員や村民を対象としたワークショップを行い、それぞれの現在の姿、将来的にありたい姿、そのギャップをどう埋めていくかを具体的に講話いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)		今回のワークショップを通して、村民がどのような思いを持っているのか、どんなことに問題意識を持っているかを少しではあるが理解することができた。今後は村の困りごと、課題等を明確にしたうえで、今年度中に解決の方向性を検討していくこととなった。	
具体的な成果物		最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
		特になし	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		特になし。今後の内容は講師と継続的に連絡を行う予定。	
アンケートの内容と分析結果		講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
		今回はワークショップに参加した自治体職員・村民にヒアリングを行い、「勝手に自分の考えに限界を作っていたことに気づいた」「役場全体でDXの意識改革の必要性を感じた」等の意見を得ることができた。	
4－3. 今後の計画		最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
		11月に再度講師に来村頂き、村民を対象としたDX勉強会を行う。また、12月に先進自治体の視察研修を行い、視察の結果や意見交換会で出た課題をふまえ今後の内容を検討する。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿		目的は「諸塚村を100年後も維持する」こと。今回は諸塚の公民館制度を利用し、シェアリングビレッジ化する。シェアの文化を根付かせ、村外とのつながりを創出することにより持続可能な地域づくりを行っていく。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可			
掲載許可		<input type="radio"/> 掲載可	
<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>			
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子			
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。			
<div></div>			